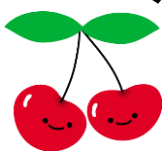


さくらんぼ



～やさしく・かこく・たくましく～

NO. 5 平成30年9月20日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

いよいよ！「夢いっぱい！花いっぱい！運動会」

2学期が始まり、また附属幼稚園に楽しい子どもたちの笑い声がたくさん聞こえるようになりました。暑かった夏も過ぎ、涼しい風が吹いてくるようになり、秋らしくなってきました。子どもたちは日ごろから、ダンスを踊ったり跳び箱をしたりすることを楽しみ、もっとやってみたい！と運動会への気持ちも高まっています。運動会の競技は、普段楽しんでいる遊びの中から、子どもたちが楽しんでできることを選んで考えています。いよいよ本番を迎える前に、これまでの子どもたちの生活をご紹介します。

初めての運動会が楽しくないますように(花組)

夏休みが明けて2学期に入り、花組さんもすっかり幼稚園の生活を思い出して体いっぱい遊んでいます。自分の思いを声に出して言える姿もよく見られるようになりました。

ブリキアやお姫様、ヒーローなどになりきって曲に合わせて踊ったりポーズをとったりすることは、1学期から引き続いて楽しんでいるのですが、今では廃材で身に付けるものを保育者に手伝ってもらいながらつくってなりきっています。“こんなかわいい(かっこいい)姿になっている私って素敵でしょ”という気持ちで、「見て」といろいろな物を身に付けて見せてくれます。女の子達はチョウチョの羽を付けて踊ることも。毎日、家に持って帰っては園に持って来るAちゃん達もいます。羽には♡がたくさん描いてあり大事なものになっています。9月に入り、トンボを親子バス遠足や園庭でたくさん見たり、歌を歌ったり生活の中でトンボに触れる機会が増え、“トンボっていいな”と思ったのでしょうか、ある日「トンボ



の羽ならつきたいんだけど」とB君。早速トンボの羽も付けられるようにしました。園庭でトンボやチョウチョの羽を付けた子どもたちと追いかっこをしている中、「もしかして羽を付けているから速いのかしら？なかなか追いつけない」と保育者が困って言うと、B君は「そうよ。こっちだよ」とまた走っていきます。側でC君が「何してるの？」と聞くので「あのトンボの羽を付けたら速く走れるんだって」と言うと、「僕も速いよ」とC君は走って見せてくれます。「本当！速いねえ。B君が羽付けたらもっと速くなるって言うけど付けてみる？」と聞くと、C君からは「いや、僕はマントがあるから大丈夫」と答えが返ってきました。自分の中で“一番”の物があるんですね。運動会では、子どもたちが一番走る気持ちになるものを付けて走りたいたいと思っています。何を身に付けて登場するかはそれぞれ選べるようにし、自分の中でいいなと思うものを付けて登場できるようにしていきたいなと思っているところです。

また、できるだけ楽しんで安心して初めての運動会を迎えられるようにとも思っています。ある日「花組さんになってたくさんできることが増えた人？身体測定でも体が大きくなってた人？たくさん手や足も動いて元気な人？」と聞くと「はい」とどれにも元気な答えが返ってきました。「先生もそう思う。だって一緒にかけっこしてもすごーく速くてびっくりしたし、星組さんが教えてくれたダンスも素敵に踊れるし、みんなすごいよね。でも、まだおうちの人やおじいちゃんやおばあちゃんたち見たことないよね？風組さんも星組さんも見せてあげたいんだって。みんなで見せてあげるっていうのはどう？」と聞くと「うん。見せたい」と子どもたち。「じゃあ、この日に来てくださいってお知らせしようね。見てもらう日を運動会にしよう。運動会にきてくださいって言うておくれ」と約束しました。そして次の晴れた日、「たくさん見におうちの人たちが来て大丈夫なように小学校の先生が広い場所を貸してくれるんだって。ちょっと今から行ってみよう」と花組で小学校のグラウンドまで歩いて行ってみました。運動場に降りる階段に着くと、グラウンドが下一面に広がっています。グラウンドに降りたたん、「うわー！」とD子ちゃんは声をあげて走り出しました。D子ちゃんの姿を見て、次々にみんなが広いグラウンドに引き込まれるように走り出しました。走り出したくなる気持ちがよく分かりますよね。心惹かれるままに体が動くっ



て素敵なお姿だなと思いました。「今度は〇〇先生のところまで、よーいどん！」と、まずは小学校のグラウンドに慣れるということを中心に広いグラウンドいっぱい使って楽しんで走りました。「気を付けからいきなり走るの難しいから、走る用意をするといいんだって。よーいって言ったらずを“一歩”って出すと走りやすいんだって。やってみる？」など少しずつ一緒に並んでスタートできるようなことも話して行きました。「よーい」と言うと、それぞれに保育者を真似しながらポーズをとっている中、E君はテレビでアジア大会を見ていたのでしょうかクラウチングスタートのポーズをとっています。走る準備万端です。「ピー」の笛の音でスタートです。花組さんのかけっこは競争ではなくお花を運ぶことや届けることを楽しみながら走りたいたいなと思っています。かけっこの前の、オープニングでは親子と一緒に並んでいます。行進した後は、安心してかけっこに気持ちが向くような声をかけてあげて、保護者席に戻っていただければと思っています。よろしくお祈りします。



また、親子競技の『ドラえもんランド』では6月の頃から楽しんでいる巧技台がコースに出てきたり、ドラえもんの道具も親子一緒に楽しめるようになっていたりします。お楽しみに☆



踊りも星組さんに教えてもらって遊びの中でも踊っています。クラスで手を繋いで輪になって、「こんにちは～」「ばいばーい」と近づいたり広がったりするところがお気に入りです。かわいらしいダンスもお楽しみに♪

運動会までに子どもたちが楽しんできたことを大事にしながら、安心して当日を迎えられるような競技を考えていますが、当日は大勢の人に囲まれて普段とは全く違う雰囲気にも包まれています。おじいちゃんおばあちゃんたちに見に来てもらうことを楽しみにしていたり、お弁当を楽しみにしていたりと、特別なことに嬉しさを感じながらも当日の雰囲気にも緊張したり不安になったりしてしまうこともあるかもしれません。そういう姿も成長の過程ととらえながら運動会がどの子どもたちにとってもいい日でありませう、温かく見守ってくださればと思っています。よろしくお祈りいたします。

(井上)

夢いっぱい！花いっぱい！パワーいっぱい！（風組）



長かった夏休みから久しぶりの幼稚園。季節の変わり目で朝晩と日中の気温差が小さい体に堪える時期になりましたが、子ども達は毎日元気に登園しています。

さて、いよいよ子ども達が楽しみにしている運動会が目前に迫ってきました。風組は先週初めて小学校の運動場にきました。子ども達が想像していたよりも広がったのか、「わーーーーー！」と運動場いっぱいそれぞれが走り出しました。広い範囲のところで思う存分走るとは子ども達にとって解放感があり嬉しかったのだと思います。「あっちまで走りたい！」「小学校って大きいね！」「ぼくあっちからあーっまで走れるよ！」と子どもたち同士で話していました。

かけっこでは、「もう1回走りたい。」「今日は、学校で走らないの？」と走ることが楽しいようで、何回も風組で運動場へ行きました。気の合う友達と走ったり、クラスを超えているような友達と走ったり、近くにいる友達と4人組をつくって走ったり…たくさんたくさん走って「楽しかった～」「もう一回走りたい！」「小学校の運動場楽しい。」と毎回小学校の運動場を満喫しています。かけこのスタートのときには、腕まくりをするふりをしたり、クラウチングスタートをするふりをしたりする子もいます。やる気に満ち溢れていることを体全身で表現する風組さんは、順位や早さなどはあまり気にせず走ること存分に楽しんでいます。私たちからも自分がゴールまで一生懸命走ることやみんなのこと全力で応援することが大切だと伝えていきます。かけっこは運動会のプログラムの中でも最初にある競技です。運動会前日の夜は楽しみで眠れなかったり、朝のお家の人のお弁当づくりのいい匂いで早く起きてしまったりすると思いますが、ご家庭でうまく調整しながら元気に登園できるようよろしくをお願いします。

また、今年の風組さんはプリンセスショーやヒーローショーなど、ダンスで体いっぱい表現することが好きな子どもがたくさんいます。星組さんから運動会のダンスを覚えてもらったときには、星組さんのお兄さんお姉さんがかっこよく踊っている姿をみながら体が自然と動き出し、一緒に踊る姿が見られました。好きな遊びをするときにも「ドラえもんショーがあります」「はなかつぱショーがあります」と言って運動会のダンスをみんなと楽しむこともあります。当日は、

いつもと違う雰囲気です。恥ずかしがる子どももいると思いますが、子どもたちなりにドラえもんやはなかつぱになりきって踊る姿を見守りたいと思います。

雨が降る日には、友達と一緒に声を掛け合って「(せーの) 雨あっち行って～。」「太陽こっちにおいで！」と空に向かって叫ぶ姿も見られ、運動会を楽しみにしている風組さん。とてもほほえましいです。一人一人が楽しい運動会になるよう、子どもたちの気持ちを大切にしながら声をかけていきたいと思えます。保護者の皆様も子どもたちの様子を温かく見守っていただけたらと思います。どうか良い天気です。夢いっぱい、花いっぱいの運動会になりますように！



(福田)

友達と一緒に挑戦して頑張ってきました（星組）

1学期からいろいろな運動遊びを楽しんできた星組さん。遊戯室にある鉄棒や跳び箱に興味をもって、やってみようとする姿がたくさんありました。始め



は「怖いからできない。」と言っていた子どもたちも、友達ができるようになった姿を見て、「私もできるかも！」「やってみようかな！」という気持ちになり、挑戦する子どもたちが増えてきました。

始めは3段・4段の跳び箱を跳んでいた子どもたちは、繰り返し取り組んでいく中で、できるようになったことが自信になり、「もっと高い跳び箱が跳びたい！」と次の目標に向かって頑張っていました。鉄棒では、難しいと言う友達に対して、「こうやるんよ。」と目の前で見本になったり、「足上げて！あともうちょっと！」と友達同士で応援し合ったりする姿もありました。それぞれ取り組んでいく中で、できるようになったことが増えると、「先生、みんなの前で紹介したい。」という声がたくさん出てきました。クラスで紹介し合うこともあれば、学年で集まってみんなの前で披露していくこともありました。友達同士で、でできるようになったことを喜び、認め合っていくことで、お互いに自信をもつことができ、仲間関係を深めていく機会にもなっていました。

また、1学期からいろいろなリレーにも取り組んでいきました。フープをくぐったり、マットで前回りをしたり、いろいろな動きを取り入れたリレーを楽しんでいきました。1学期の頃は、自分が走

ることに一生懸命だった子どもたちでしたが、次第に、グループの友達の頑張りを応援する姿も出てくるようになりました。どうやったら勝てるのかを考えたり、早く走れるコツを友達に教えてもらったりしたこともありました。それらの姿は、運動会のかげっこやリレーにもつながっています。初めて小学校の運動場を走ったときは、どこを走ればいいのか、バトンは誰に渡すのか、「？」だらけの子どもたちでした。繰り返し取り組んでいくと、「絶対勝つぞ！」と強い気持ちをもって走ったり、「赤チーム頑張れ！」「青チーム追いつけるよ！」と友達と一緒にチームを応援したりする姿が見られるようになりました。



子どもたちは今までの頑張りを積み重ねて、運動会に向けて気持ちを高めています。中には、間に夏休みが入り、鉄棒や跳び箱のやり方を忘れてしまった子どもや「やっぱ怖いかも…」と少し不安になってしまった子どももいます。「大丈夫！一緒にやってみよう。」と友達や保育者に支えられながら、また挑戦してみようと頑張っている子どもたちです。運動会本番では、緊張や不安から今までできていたことができないこともあるかもしれませんが、これまでに友達と一緒に挑戦し、頑張ってきた姿や思いを大事にしたいですね。

星組は、幼稚園最後の運動会です！子どもたちが最後まで頑張り、笑顔で楽しむ姿に大きな拍手とたくさん声援を送り、温かく見守っていただければと思います。(高橋)

それぞれの学年で子どもたちが運動会への気持ちを高め、楽しく迎えられるように過ごしてきました。子どもたちの元気と、保護者の皆様の温かい声援で、思い出に残るような楽しい運動会にしていきたいと思っています。しっかりご飯を食べてよく寝て、元気に運動会本番を迎えられるようにしていきたいですね。「夢いっぱい！花いっぱい！運動会」へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(編集担当：高橋)